
図解 人材マネジメント入門

「理論と実践」100のツボ：エッセンス要約

人事の本質は「人を生かして事を成す」ことにある

人材マネジメントを構成する6要素

各要素が有機的に結びつき、組織能力を最大化する：

- ✓ 等級：人材マネジメントの骨格（役割・能力の基準）
- ✓ 人事評価：判断の根拠（公正な格差と成長支援）
- ✓ 報酬：納得感の醸成（金銭的・非金銭的報酬）
- ✓ リソースフロー：採用・異動・代謝の最適循環
- ✓ 人材開発：個人の成長への意志ある投資
- ✓ 組織開発：関係性とプロセスへのアプローチ



効果的なマネジメントの3つの定石



適応性と一貫性

外部環境への「適応」と、施策間の「一貫性」を保つことで、組織に明確なメッセージを伝える。



期待と信頼の構築

評価や異動において、上司が責任を持って「期待」を伝え、本人との「信頼関係」を磨き続ける。



自律的なキャリア

企業主導から本人主体へ。
Will・Can・Mustの重なりを広げ、プロとして自立した人材を育む。

“

「不易流行」：変わらない原理原則を軸に、時代の変化を柔軟に取り入れる。

”